

おうち

第8号

2006 2

テーマ「幼稚園・保育所」

ってどんなところ？



表紙絵「スキー」 えんどうゆいちゃん（年長）

アンケートの結果 「幼稚園・保育所」

「遊びや生活を通して学ぶ」 東京成徳大学助教授 神長 美津子

トピックス

子どもと読みたい一冊 「三びきのやぎのがらがらどん」

掲示板

一人一人を見つめて

お知らせ

特 集

「幼稚園・保育所」ってどんなところ？

幼児は「生活」や「遊び」の直接的・具体的な体験を通して、「生きる力」の基礎を培っています。

幼稚園・保育所は、遊びを中心とする生活を通した計画的な教育を行う場です



栃木県では5歳児の98.3パーセントが幼稚園・保育所等に在園しています。

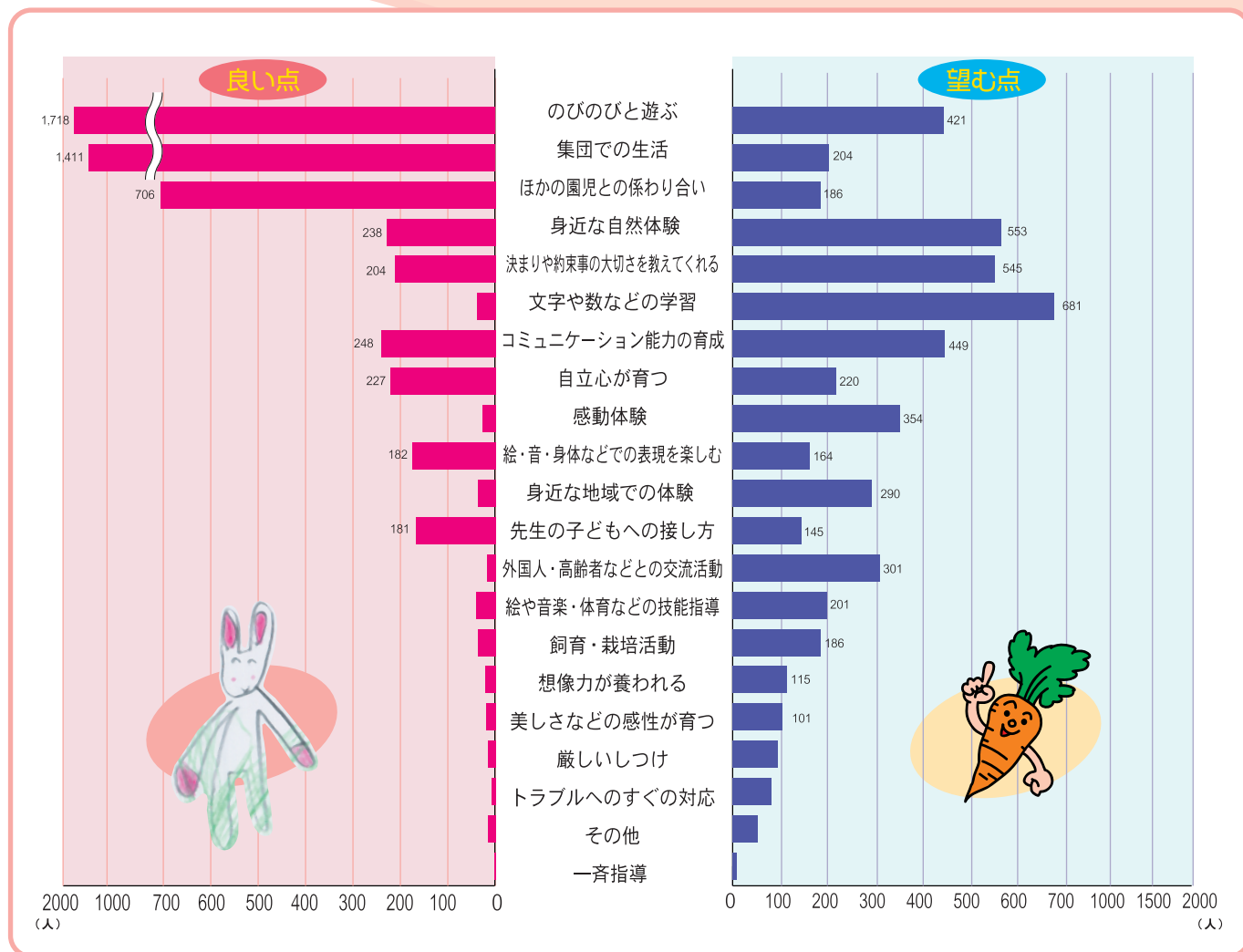
幼稚園・保育所には、子どもが過ごす場として、どんなことが望まれるのでしょうか。
今回のアンケートでは、お子さんの通っている幼稚園・保育所についてお聞きしました。
アンケートの結果を参考に、子どもの育ちを保障する観点から考えてみましょう。

アンケート結果「幼稚園・保育所」

(回答数5, 220件)

良い点、望む点

子どもにとって良い点、さらに望む点で1番に挙げていただいた項目です。



自由意見

♣よくほめてもらうので、子どももやる気になる。
 ♣子どもの望んでいることを理解し対応してくれるので安心してすごしているようだ。
 ♣子供同士のトラブルもすぐに止めるのではなく、本人たちがどこまで対応できるのか見てほしい。
 ♣幼児期にしかできない体験・遊びやいろいろな園児とのかかわりを経験してほしい。
 ♣細かいことにこだわらず、ダイナミックに遊ばせるのが良いと思っている。
 ♣一番悪いことは大人が「おどす」こと。
 ♣物事の答えは一つでない事を知らせたい。
 ♣子どものマイナス部分を指摘するのではなく、よきアドバイスをしてほしい。
 ♣行事の完成度にこだわらず、のびのびと遊ばせてほしい。
 ♣虫や動物などの飼育を。
 ♣園の様

子をこまめに知りたい。
 ♣午後も外遊びがあると良い。
 ♣仕事をしているので感謝。
 ♣いろいろな要素を見つけて伸ばしてほしい。
 ♣先生や友達と遊ぶ中で社会性が養われている。
 ♣テレビやビデオの時間を減らしてほしい。
 ♣毎日楽しく登園していてうれしい。
 ♣先生方の子どもへの接し方が勉強になる。
 ♣目の届かないところのトラブルが心配。
 ♣保育者の数を増やしてほしい。
 ♣集団生活により、個性が消えるような気が。
 ♣集団の中で萎縮しているようだ。
 ♣先生によってしつけが違い、子どもが戸惑っている。
 ♣細かいところまで気を配ってもらい感謝。
 ♣更なる自然体験を。
 ♣一人一人がいきいきとした表情で生活していることが一番だと思う。

幼稚園

学校教育法に基づく学校で、学習指導要領の幼稚園版である「幼稚園教育要領」に沿った教育を行います。満3歳から入園できます。

保育所

児童福祉法に基づき「保育指針」に沿った保育を行います。0歳から入所できます。

3歳以降は「幼稚園教育要領」と同じ教育を行っています。

どんなところ？

なぜ、3歳から教育なの？

3歳になると、子どもは、まわりへの興味・関心、人とのつながりなどが急速に広がり、親への全面的な依存の状態から自分の世界をつくりはじめ、教育可能とされています。

知的好奇心を育む



お子さんから、こんな手紙をもらったことはありませんか。

子どもは文字に興味をもつと読んだり書いたりする真似を始めます。少しすると、それらしき形を書くようになります。「すごい、もう字が書ける（読める）」とか「正しい書き方を教えた方がいいかな」と思ったこともあるのではないのでしょうか。

大人がこの時に考えているのは「文字の機能」で、子どもがこの時期に経験していることとは異なります。子どもは文字を使い、何かを伝えることを楽しんでいます。

伝えたい思いが相手への言葉となり、紙に書いた文字になります。子どもは、その文字を書いたり、交換したりする中で「人に伝えたい思いをもつ」「思いを文字に表す」「相手に届ける」「返事をもらう」「分かってもらえたと満足する」など、誰かに伝えた喜びや人とつながった喜びを味わっています。これらの多様な経験が文字という知識を得る原動力となります。

数についても同様です。「どんぐりがたくさんある。いくつだろう」「いっぱい食べたから重くなったよ。体重はかってみよう」「縄跳び、どっちがたくさん跳べた？」など、生活や遊びの中で出てくる好奇心を満たす中で、数えたい・比べたい・はかりたい気持ちを子どもなりの工夫で実現させています。

これらの経験で学びの根っこをぐんぐん伸ばしているのです。早くに文字や数の知識を教えることで、根っこの育ちを阻んでしまうこともあります。書きたい・数えたい気持ちを、その子の興味のある方法で実現することが大切です。

幼稚園や保育所は、幼児が遊びや生活の中で数や文字に触れる豊かな経験の場としてあってほしいですね。

「遊びや生活を通して学ぶ」

幼稚園や保育所では、幼児は、これまでの家庭生活にはない、様々なもの、先生や友達、自然や文化と出会い、幼児なりに世界の豊かさに出会います。今回は、こうした幼児の出会いに焦点をあて、幼児期の学び、特に幼稚園や保育所での教育について考えます。

「よく遊び、よく学べ」とは

「よく遊び、よく学べ」をどう解釈しますか。「だらだらしないで、勉強するときには集中してしっかりやる。ただし、遊びの場面では思いっきり遊び、そのけじめをつけることが大切。そうすれば、次に勉強する時に新たな気持ちで集中できる」と、遊びと学びを区別して考えるのでしょうか。確かに、一般に遊びという言葉は、たとえば「遊んでばかりいないで」と勤勉であることを要求したりして、学びと区別されますが、本来、遊びと学びは区別したり、対比したりするものではないと考えます。

幼児は遊ぶ中で、伸びやかに探究する、自由に発想し試みる、体全体で対象とかがわりたわおれ、より広い世界を知っていきます。未知なる世界を学んでいくのです。「遊びと学び」と対局ではなく、「遊びは学び」と連続するものではないでしょうか。

遊びを通してより広い世界を知る

ある園での遊びの場面ですが、真剣に遊ぶ幼児の姿を見ながら、未知なる世界を自分のものとしようとする幼児の姿に触れ、感心しました。それは、固い段ボール製の半円筒の遊具を見つけ、いろいろに試しながらじつくりと遊んでいる姿です。初めは、木馬のようにそれにまたがり、体をユラユラと動かし、揺れを楽しんでいます。しばらくして、それを反対にして山型に置き、登っては飛び降りるまた登るという動作を繰り返します。さらに、今度は、ユラユラするところに立ち、両手を広げバランスをとりながらスリルを味わっていました。最終的には、数人の友達と一緒に同じ遊具を集め、チョウチョウのお家ごっこが始まっていました。初めての遊具に触れいろいろに試す中で、そのものの特性を理解し、次々と動き

東京成徳大学助教授

神長 美津子



方、遊び方を見つけだし、チョウチョごっこの遊びのイメージができたようです。チョウチョの家には、半円筒のユラユラベットがあり、遊びの中心でした。

こうした幼児が一つの遊具と遊ぶ過程を見ていて、その発想の豊かさや思考の柔軟さ、行動力に感心するとともに、自分の知らない世界と真剣に向き合い、試し確かめを重ねながら探究し、ついに自分の世界に取り込んでいく、幼児の学ぶ意欲や姿勢を読みとることができました。それは、まさしく、真剣な遊びであり、学びの姿勢そのものです。

小学校以降の生活や学習の基盤をつくる

幼稚園や保育所は、小学校以降の生活や学習の基盤をつくっていくところです。生涯学習社会において、本来、学校とは、子どもたちが、様々な学習を通して、未知なることを学ぶ楽しさを体験し、学ぶ意欲や姿勢を身につけていく場です。そのスタートである幼稚園や保育所では、幼児が我を忘れて没頭する遊びを通して、好奇心や探究心をもって物事に取り組むことのおもしろさを十分に体験させていくことが重要です。

言い換えれば、幼児期では、「真剣な遊び」の場をつくり、幼児の「真剣な学び」を引き出すことが重要なのです。もちろん、そのために、幼児の学びを引き出し、可能とする環境を吟味しなければなりません。幼児一人一人の心が開放され、心理的にも物理的にも対象と心ゆくまでかかわり、そのかかわりを楽しめる教育環境です。遊びのよき理解者であり援助者である保育者のかかわりも重要です。教育環境や保育者の指導が、幼児が物事に真剣に取り組むことを導き、学びを引き出していくのです。

文部科学省が示す幼稚園教育要領では、幼児期の学びの本質を踏まえ、幼児期は環境を通して行う教育を基本とすると述べています。幼稚園や保育所とともに、幼児の生活や遊びを見直し、幼児一人一人の学ぶ意欲や姿勢を育てる教育を考えていきたいものです。





トピックス



Q 子どもにほかの家のしつけと比較され困るときがあります。

A 「〇〇ちゃんの家はいいのに、どうしてうちはだめなの！」といって抗議されることは結構ありますね。特にしつけに関しては、それぞれの家庭の価値観によってなされるものなので、子どもにとって〇〇ちゃんの家は「隣の芝生」のように羨ましく見えたりするものなのでしょう。

「家は家なの！そんなに分からないのなら〇〇ちゃんの家の子になっちゃいなさい！」と声が聞こえるような気がします。それでも間違いではないのだと思います。

肝心なのは、前は良かったのに今度はだめ、というように親の姿勢がその時の都合で変わらないことです。子どもは無意識の中に親の生活姿勢を真似ています。子どもが自分の行動を自分でコントロール・修正できない幼児時代は、大人が身をもって規範を示さなくてはならないでしょう。

Q 夕食前に子どもが食べ物をほしがります。ご飯のしたくは間に合わないし、お菓子はあげたくないし・・・

Q 素朴な手作りおやつを教えてください。

A ご飯前でも、プチ主食などはいかがですか？

残りご飯を使った味噌おやきを紹介します。

1 ご飯に小麦粉・味噌・少量の水を加え、軽く混ぜる。（小麦粉はつなぎでボタツという感じです。）

2 小判型にまとめ、油を引いたフライパンで両面をカリッと焼く。

*ビニール袋に入れて混ぜると、片付けも簡単。
みじん切りのねぎを入れると香ばしくなります。



アンケートのお願い

次回テーマ「ゲーム」

街中にあふれるゲーム機器。子どもとゲームについてどうお考えですか？

アンケートで紙上井戸端会議に参加ください。

アンケート集計が園から送られてくるたびに一喜一憂する日々。7号のアンケートは県内の3~5歳児の約10パーセントの回答でした。「おうち」は皆さんの声で構成する広報誌です。

ぜひ、ご協力ください。

アンケートは幼稚園・保育所にお出しいただくか、または、直接、幼児教育センターに郵送／FAXでお送りください。

子どもと読みたい
一冊



「三びきのやぎのがらがらどん」北欧民話



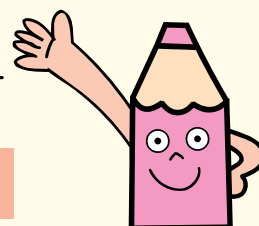
マーシャ・ブラウン え／せた ていじ やく
福音館書店

「がらがらどん」という名前の三匹のやぎがいました。きみの悪いトロールとやぎたちのお話です。ちょっとドキドキしますよ。

掲示板

自由意見で寄せられた声です

テーマ「習い事」について



気になっていたので、参考になった。

あせる必要はないと、少し安心した。

「習い事」をさせたほうがよいのでは・・・という偏った記事だったと思う。

子どもに負担にならないように、よく考えたい。

悩み事について

早く寝かせなくては・・・とわかっているけど、帰宅後に夕食の準備などしていると、就寝が10時ごろになってしまいます。皆さんは、どうですか？

娘は寝るのが遅く、親が寝ても一人で起きています。朝早く起こしてもなかなか改善しません。よい方法があったら教えてください。

「おうち」は栃木県教育委員会の幼児教育部門である「幼児教育センター」が子育てをしている方々へ子どもについての情報を提供するために発行しています。バックナンバーはホームページで読むことができます。

また、表紙の絵やカット、子どものつぶやきなど随時募集しています。直接、または園を通じて幼児教育センターまで送付ください。

一人一人を見つめて

② 友達ができにくい子ども

シリーズの2回目は、「友達ができにくい子」へのかかわり方について紹介します。一口に友達ができにくいといっても、その姿や考えられる要因はさまざまです。

☆ 性格的なものから

一人遊びが好きで友達がなくても平気なマイペースな子ども、友達に関心はあるけれど少し臆病でなじむのに時間がかかる子どもなどがいます。このような子どもたちは、今は友達ができにくいかもしれませんが、まわりの大人があれこれ心配する必要はありません。気長に暖かく成長を見守っていきましょう。

☆ 行動の面から

思い通りにならず言葉よりも先に手が出てしまう子ども、注意を集中できず状況を考えないで衝動的に行動してしまう子どもなどがいます。このような子どもたちに対しては、まずは、その子のよさ（エネルギーであるなど）を認めたいものです。そして、友達とのやりとりの中で、集団のルールなどを一つ一つ学ばせていきましょう。日々の大人の働きかけによって、ずいぶん変わっていくものです。

☆ 社会性の発達の偏りから

友達とのやりとりがもともと苦手な自閉症やアスペルガー症候群の子どもたちがいます。まずは、他の子どもとの違いを個性として、周りが理解することです。そして、集団生活の経験を積むことやあいさつなどの練習も大切になります。また、子どものことを客観的に把握し適切な対応をするために、専門機関などを利用することもよいでしょう。

大切なことは、子どもたちの成長を信じて、温かく見守り育てることです。無理に友達を押しつけたり、また反対にかかわりをもたないようにしてしまったり、他の子どもと比較したりすることは、子どもたちにとって望ましいことではありません。大人の役割は、子どもの特徴をしっかりと理解して、一人一人の成長を認めて、子どもの意欲や自信をふくらませていくことです。

お知らせ



家庭教育ホットライン（保護者専用）

保護者の皆さん！お子さんの育児、子育て、しつけ等家庭教育のことや友達、いじめ等対人関係のことなどで困っていること、悩んでいることはありませんか？

秘密は絶対に守ります！一人で悩まず気軽に御相談ください！

TEL 028(665)7867

受付時間毎日午前9時から午後10時まで

【午後10時～午前9時までは留守番電話・FAX（電話番号と同じ）で対応】

栃木県教育委員会

とちぎテレビ番組「とちぎ教育新事情」の御案内

「おうち」第8号に関するテレビ番組を下記のように放映しますので参考にしてください。

日 時：平成18年3月19日（日） 10：10～10：30

再放送：平成18年3月20日（月） 12：05～12：25

内 容：「幼稚園・保育所」

家庭教育広報誌「おうち」第8号

平成18年2月発行

発行者 栃木県教育委員会幼児教育センター

〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070

TEL 028-665-7215

FAX 028-665-7216

URL：http://www.tochigi-c.ed.jp/youji/

e-mail：youkyou@tochigi-c.ed.jp